

基本構想中間報告に関するパブリックコメントの実施結果について

- 1 意見募集期間 平成 29 年 3 月 21 日(火)～4 月 20 日(木)
- 2 意見件数 7 件 (提出者数 5 人)
- 3 意見への対応

No.	該当箇所	意見等の概要	意見に対する対応
1	第1部 総論 第2部 基本構想 (全体)	見慣れない言葉が散見され、その都度インターネットを開いて調べている。文中に注釈を入れるなどしたほうがわかりやすくなると思う。	今回の中間報告では注釈等は記載しておりませんが、最終計画においては該当ページに注釈を、また巻末に用語集等を記載することとしております。
2	第1部 総論 第4章 住民意向の動向	市民アンケートの結果が記載されています。当方も回答した一人として、非常に興味深く拝見しましたが、回収率が 54.6%ととても高く、市民の関心の高さが伺えます。また、市民アンケートと中高生アンケートが比較でき、定住意向などで意識の違いがわかり、参考になりました。 ところで、アンケートの回答項目はもっと多かったように記憶していますが、全体の結果はどこかで見るのでしょうか。できれば、概要でなくすべての結果を記載したほうが良いのではないのでしょうか。	第4章 住民意向の動向(アンケート結果)は、ご指摘のとおり概要として抜粋掲載しています。すべての項目を掲載するには紙面の制約があり、総合振興計画を策定するうえで本市の強みや弱み、市民の考え方などが伺える質問のみにとどめています。すべての項目のアンケート結果については、市ホームページの「第 2 次総合振興計画」のページに掲載しておりますので、参照願います。また、ご意見を基に、基本構想計画書にもその旨を記載するようにいたします。
3	第2部 基本構想 第1章 目指すべき将来像	まちづくりのテーマ、基本理念は第 1 次総合振興計画とまったく同じ。基本方針も第 1 次とほぼ同じ。次の計画としての目新しさが感じられない。	「将来都市像」は、本計画の位置づけや方向性を表すシンボリックなテーマです。ご指摘のとおり、今回の計画では第 1 次総合振興計画の将来都市像を踏襲しておりますが、これは審議会において、自然に恵まれた黒部市を端的に表しており、10 年を経過しても色あせるものではなく、むしろ継続性を持たせたほうが良いという意見から継続したものです。同様に「まちづくりの基本理念」についても、市民の参画と協働の考えは人口減少時代にあってまちづくりの大原則であり、これからの時代はより重要性が増すという意見から継続しております。これを受けて設定される「まちづくりの基本方針」については、自然的に第 1 次計画と同様の分野となっておりますが、10 年の時期的経過や時代の潮流を踏まえ、内容を見直して掲載しております。

No.	該当箇所	意見等の概要	意見に対する対応
4	第2部 基本構想 第2章 施策の大綱	健康寿命を延ばし、重症化予防、要介護の減少のため、健康づくりにおける受動喫煙対策の推進をお願いします。	受動喫煙対策の推進などの健康づくりに関する取組みについては、基本構想の実現に向け必要な施策等を定める前期基本計画の策定を進めていく中で検討していくこととしております。
5	第2部 基本構想 第2章 施策の大綱	黒部市の人口が今後ますます減っていくという中で、子育て支援により子供の数を増やすなどの取組も大切ですが、市外から人を呼び込んで人口を増加させるような取組も進めてもらいたい。	人口減少は、本市の課題の一つであり、現在、黒部市総合戦略「戦略Ⅲ」を策定しながら、その対策を進めております。また、基本構想の実現に向け必要な施策等を定める前期基本計画の策定を進めていく中でも、移住定住の推進などの人口減少対策について検討していくこととしております。
6	第2部 基本構想 第3章 人口見通し	人口の見通しで、24,930 人を 33,010 人にするかとされているが、具体的にどうやって実現するのかがわからない。	ご指摘の人口目標は平成 27 年 10 月に策定した黒部市人口ビジョンの人口の見通しと目標を示したもので、総合振興計画の目標年である 2027 年よりもさらに先の 2060 年の数値となります。子育て支援や安定した生活の実現などにより合計特殊出生率を向上させること、移住定住施策の推進や安定した雇用の創出により社会増要因を見込むことで目標を実現することとしております。第 2 次総合振興計画も、この考え方や方向性を基本的に踏襲することとしておりますが、詳しくは本市ホームページに掲載の「黒部市人口ビジョン」及び「黒部市総合戦略」を参照願います。
7	第2部 基本構想 第4章 土地利用方針 第5章 重点メニュー	土地利用イメージ図は、黒部市と宇奈月町が合併してできた現在の黒部市の状況をよくあらわしていると思います。 特に、広域交流連携軸と地域交流連携軸を、黒部市の特徴である鉄道を軸として設定されており、まさしく電源開発による地鉄、トロック電車から現代の新幹線まで、これまで培われてきた黒部市の歴史がうまく表現され、かつその形状が伸びやかで、これからの更なる成長が期待されます。 重要なのは、この軸を活かした事業がしっかりと計画に盛り込まれることだと思います。43 ページから 44 ページにかけて重点メニューが記載されていますが、これだけを見てもなかなかイメージがわいてきません。どんな課題があってどうやって解決するのか、目標はどこにしているのか、年次的な計画などを示すことが大事ではないでしょうか。	今回提示している計画書は、第2次総合振興計画のうち「基本構想」の中間報告になります。ご指摘のありました、課題を解決するための具体的な事業の組み立てや年次計画等については、別に策定する「前期基本計画」において盛り込んでいくこととなります。基本計画の中で、計画期間内で実施する事業を計画的に盛り込み、効果的なまちづくりにつなげてまいります。